

お昼の放送チェンジ&チャレンジ

鹿児島純心女子高等学校



こんにちは、鹿児島純心女子高校放送部の上野と吉永です。

みなさんの学校では、どんなお昼の放送をしていますか？

純心のお昼の放送

昨年までのバージョン
「3つの『ない』」

まず、昨年までの純心の校内放送をお聞き下さい。

どうですか？実は、この放送は、人気がありませんでした。

その原因は、「三つの『ない』」にあります。

純心のお昼の放送(旧)

1 基本的にリクエスト曲は流せない

→ 学校の規則

「日本語の歌詞の曲は禁止」

その1

リクエスト曲が流せない。

学校の規則で、日本語の歌詞の曲は流せません。

純心のお昼の放送(旧)

2 鮮度の低いニュースしか流せない

→ 学校の規則

「携帯の持ち込み禁止」

その2 新鮮なニュースが流せない。

携帯電話は、持ち込みが禁止されているため、
部活動の試合速報など、外部からの情報が入りません。

純心のお昼の放送(旧)

2 「1分の壁」を越えられ ない

→ 自分たちの妙なこだわり

「コンテストパターンに縛られる」

その3 「1分の壁」を越えられない。

コンテストそのままの原稿を読んでいた。

その結果…

その結果として・・・

「聞いてもらえない放送」

聞いてもらえない放送になっていたんですね。

原因は、「お昼に流す」ことを深く考えていなかったからなんです。

では、お昼に流すとはどういうことか、見てみましょう。

昼の放送の特

憩いの時間に流れる

他の音と混ざる

まず、お昼はご飯を食べながらおしゃべりをするみんなの憩いの時間です。
話が盛り上がったり、がやがや騒がしいこの時間帯は、
放送が他の音と混ざってしまいます。

それを考えないとお昼の放送は・・・

下手をすれば

「・・・雑音。」

雑音です。

一生懸命放送している方からすれば、
聞いてもらえない放送は悲しいですね。

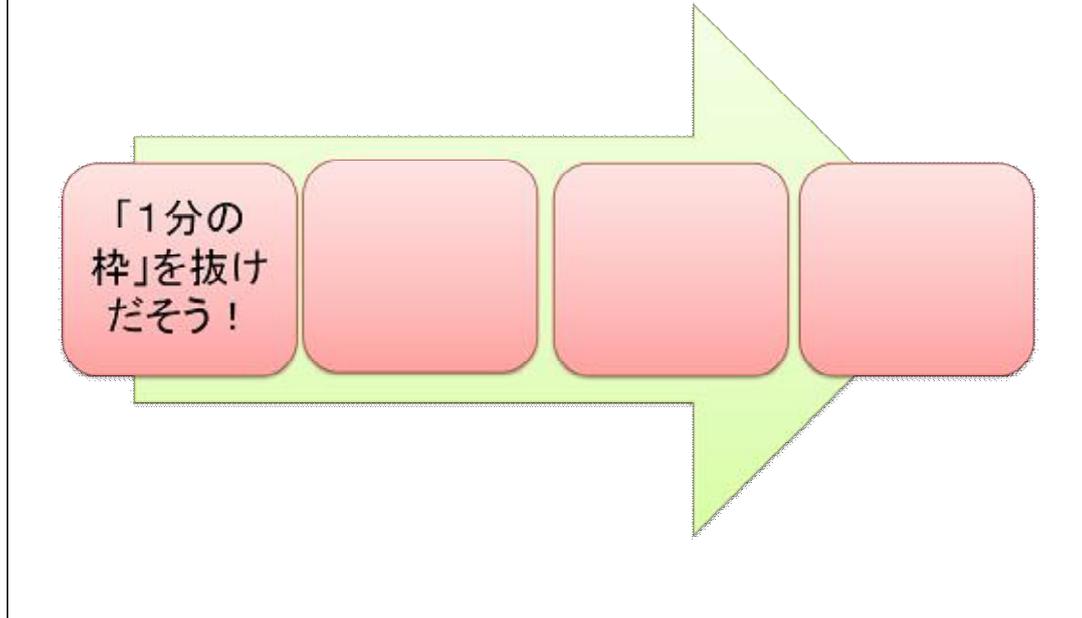
チェンジ&チャレンジ大作戦！



そこで、少しでも聞いてもらえるための、「チェンジ&チャレンジ大作戦」を考えました。

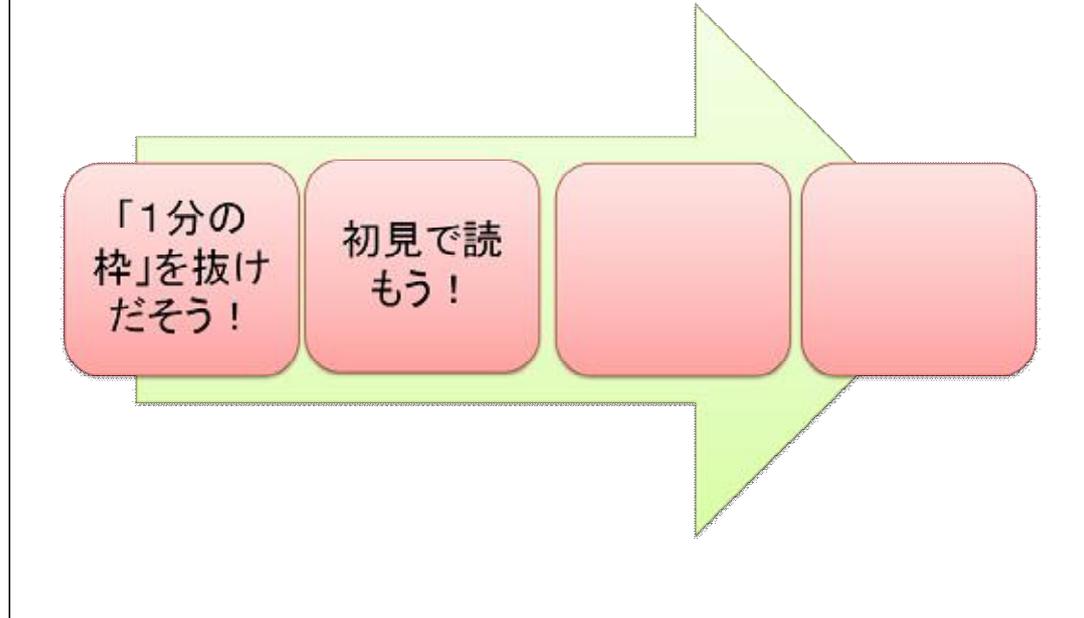
ポイントは次の四つです。

チェンジ&チャレンジ



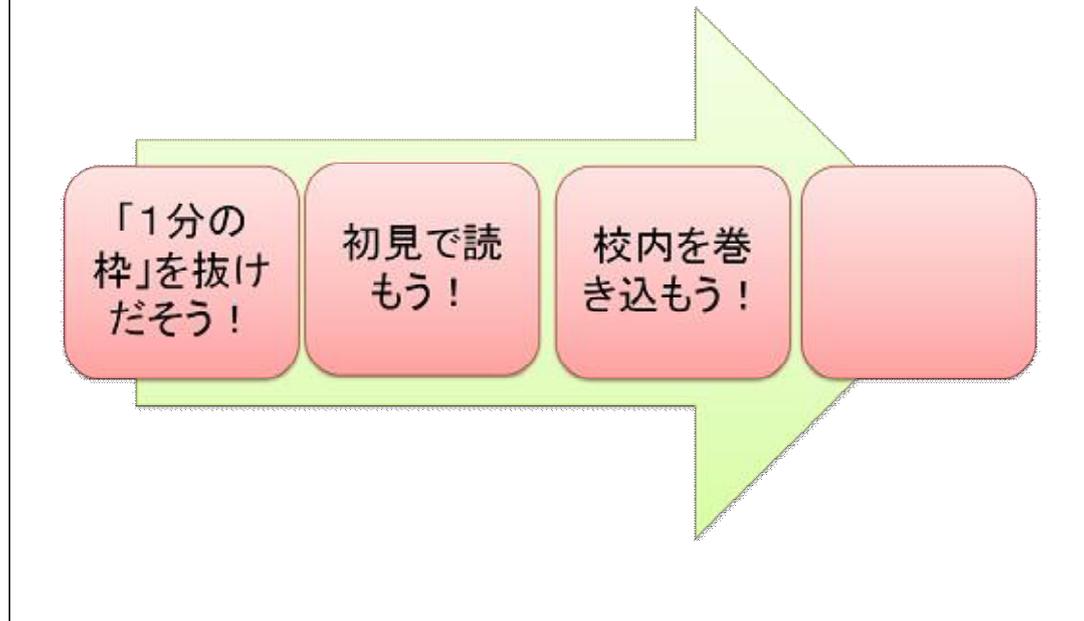
チャレンジその1 「1分の粹」を抜け出す。

チェンジ&チャレンジ



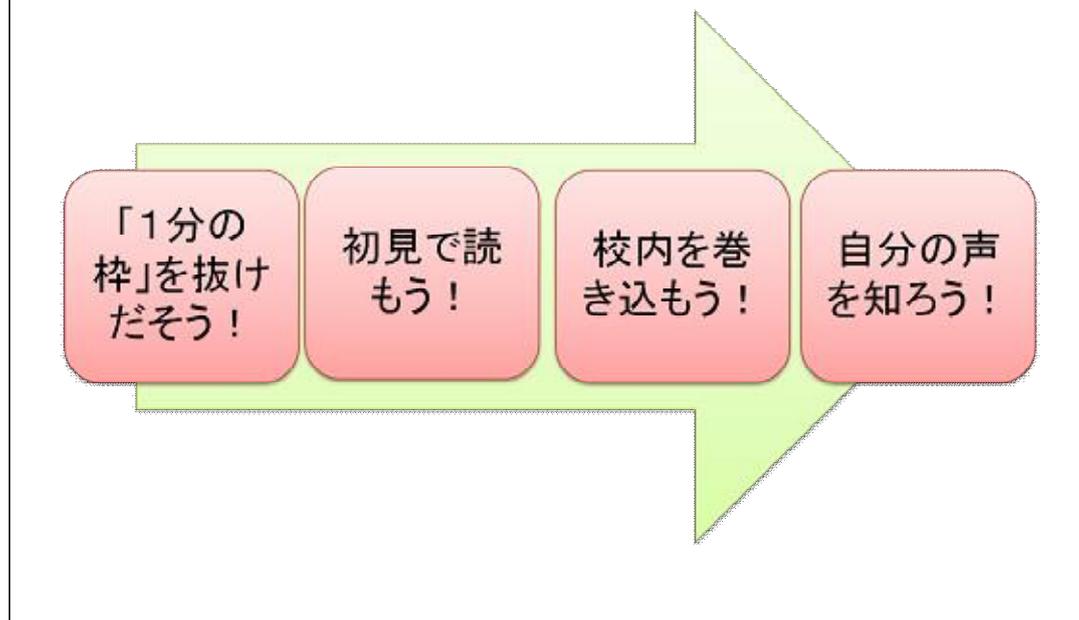
その2 初見で読む。

チェンジ&チャレンジ



その3 校内を巻き込む。

チェンジ&チャレンジ



その4 自分の声を知る。

それでは、具体的に紹介していきます。

1 「1分の枠」を抜けだそう！

従来の放送原稿
350～400字程
度

まず、1分の枠を抜け出す。

今までの放送では、コンテストのような1分程度の原稿を自分で作って読んでいました。

しかし、冒頭で聴いていただいたように、聴いている人にとってはあまりおもしろくありません。

1 「1分の枠」を抜けだそう！

従来の放送原稿
350～400字程
度

新しい放送原稿
1500字

そこで、読む量を3倍以上に増やしました。

原稿の量を増やすことで、みんなが余裕を持って聞ける、BGMのようになるように改善しました。

2 初見で読もう！

自分の原稿の盲点

→ 自分がわかっている
から…

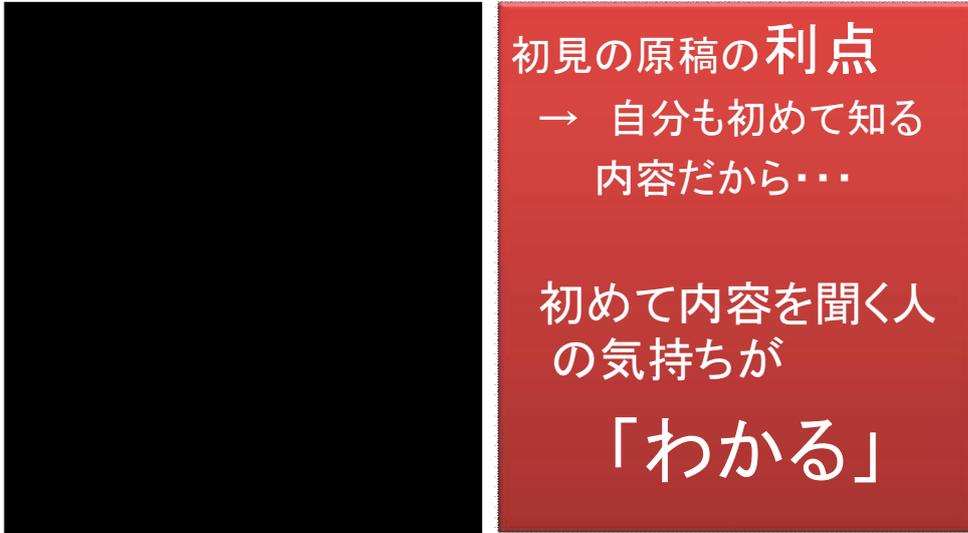
初めて内容を聴く人
の気持ちが

「わからない」

次に「初見で読む」。

先ほども行ったように、今までは自分の原稿を自分で読んでいました。
しかしそれでは、自分が内容をわかっている分、
初めて聞く人の気持ちになって伝えられません。

2 初見で読もう！



初見の原稿の**利点**
→ 自分も初めて知る
内容だから・・・

初めて内容を聞く人
の気持ちが
「わかる」

そこで、私たちは、
「初見読み」を行うことにしました。

他の人が取材した内容を、
放送10分前に受け取ります。

これで、聞いている人と同じ立場に立つことができ、
わかりやすくよむための工夫もするようになりました。

特に名詞を立てることの重要性に気づきました。

3 校内を巻き込もう！

天気予報・占い・クイズ



アンケート企画による商品開発



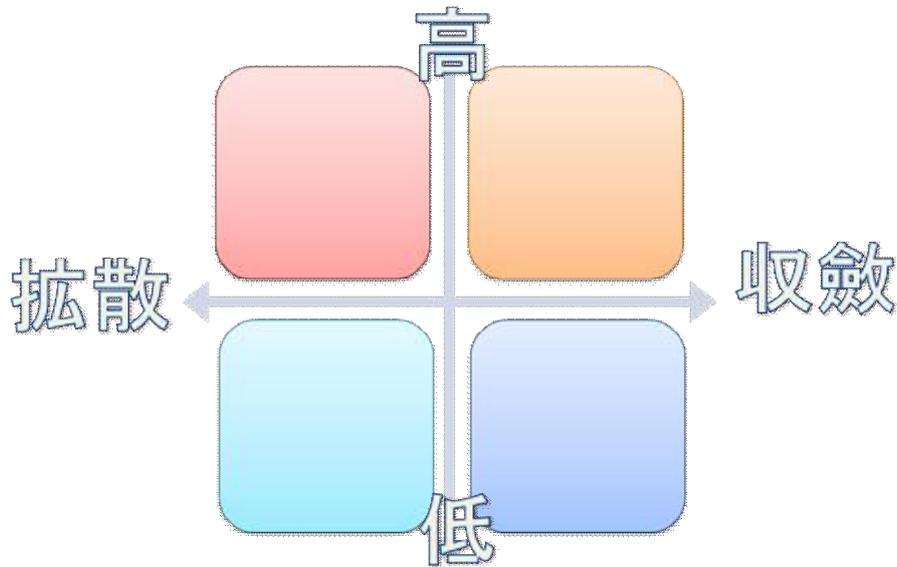
3つ目は、校内を巻き込むことです。

これまでの2つは、聞きやすさを追及しましたが、今度は、いかに聞く人を引きつけるかが大切だと考えました。そこで、少しでも楽しんでもらおうと、天気予報や占い、クイズを始めました。

また美術部との共同企画として、イラストの人気投票を行い、一位になった作品のファイルを作りました。

この試みは、聞き手の反響があり、励みにもなりました。

4 自分の声を知ろう！



最後のポイントは、「自分の声を知る」ことです。

こちらの図を御覧下さい。

これは、純心放送部が考案した「音色マトリックス」です。

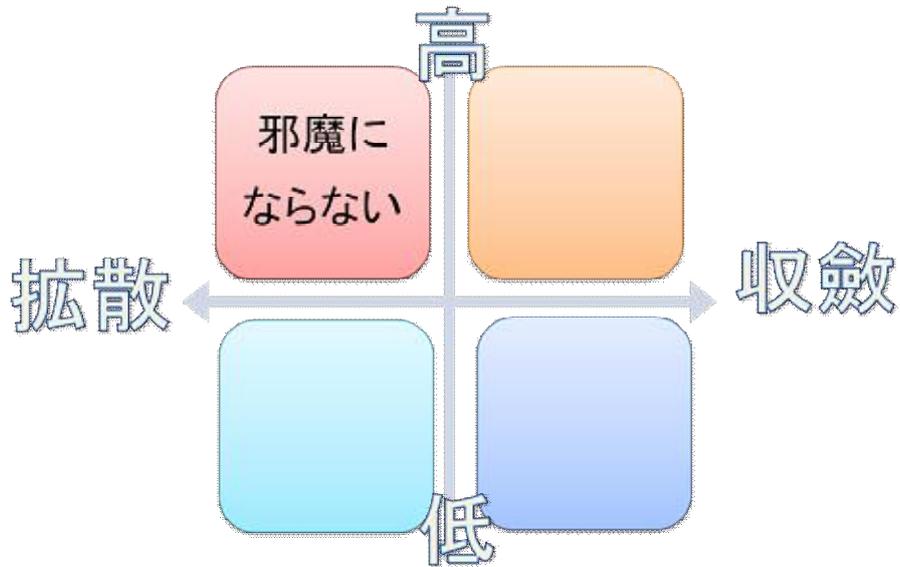
縦軸が音の高さを表し、
横軸が音の広がりを表しています。

ちなみに、
拡散とは、音が広がる感じの声、
収斂とは、音が鋭い感じの声です。

ここから、
部員の声質を4つのタイプに分けました。

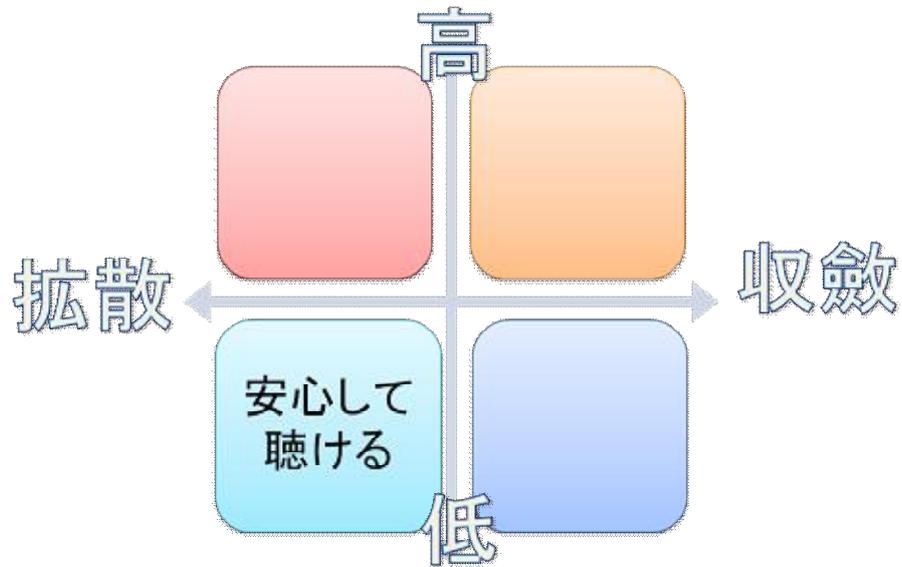
4つのタイプについて説明します。

4 自分の声を知ろう！



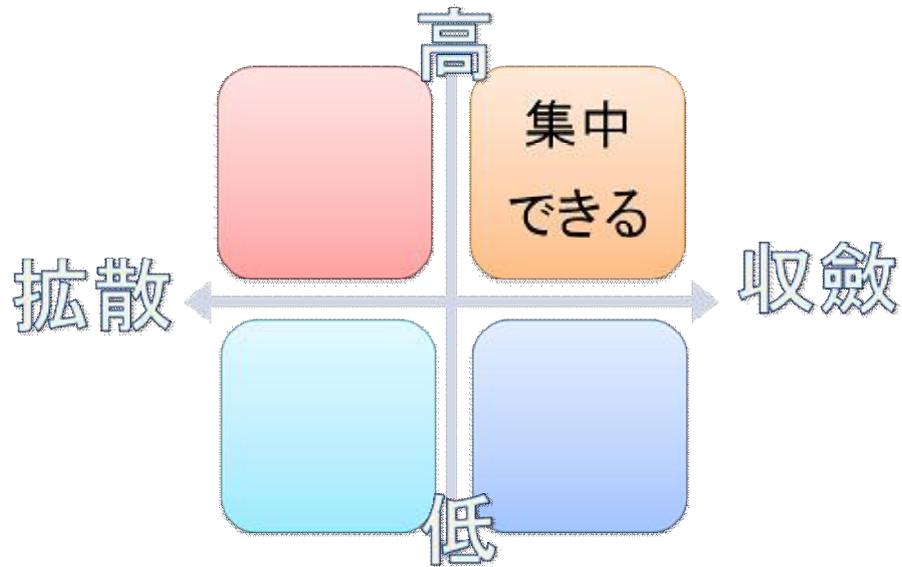
高くて広がるタイプは
「邪魔にならない声」

4 自分の声を知ろう！



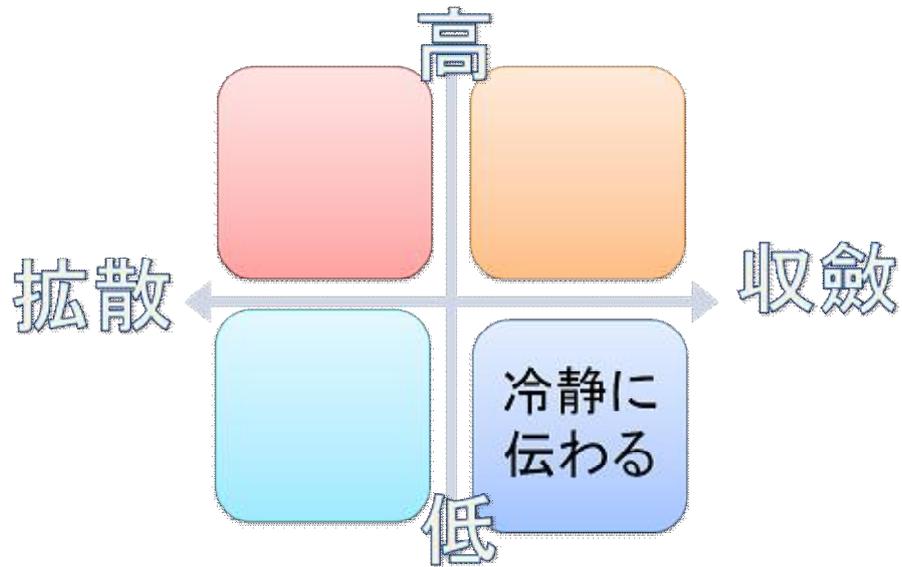
低くて広がるタイプは、
「安心して聞ける声」

4 自分の声を知ろう！



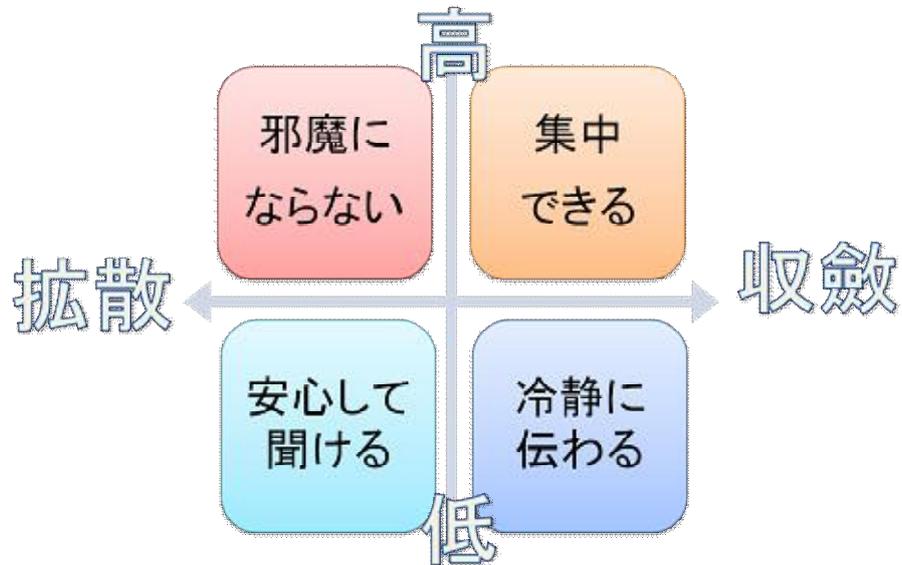
高くて鋭いタイプは、「集中できる声」。

4 自分の声を知ろう！



低くて鋭いタイプは、
「冷静に伝わる声」

4 自分の声を知ろう！



それでは、4つのタイプには、
どういう校内放送が似合うのでしょうか？

声と情報の関係

「邪魔にならない」声(高め・拡散)
→ 即時性のない学校ネタや裏話

「安心して聞ける」声(低め・拡散)
→ 天気予報・来週の予定・
定時のお知らせ

まず、高くて広がるタイプ「邪魔にならない声」は、のんびりした内容、裏話などが似合います。

低くて広がるタイプ「安心して聞ける声」は、天気予報や定時のお知らせが似合います。

声と情報の関係

「集中できる」声(高め・収斂)

→ 占い・クイズコーナー

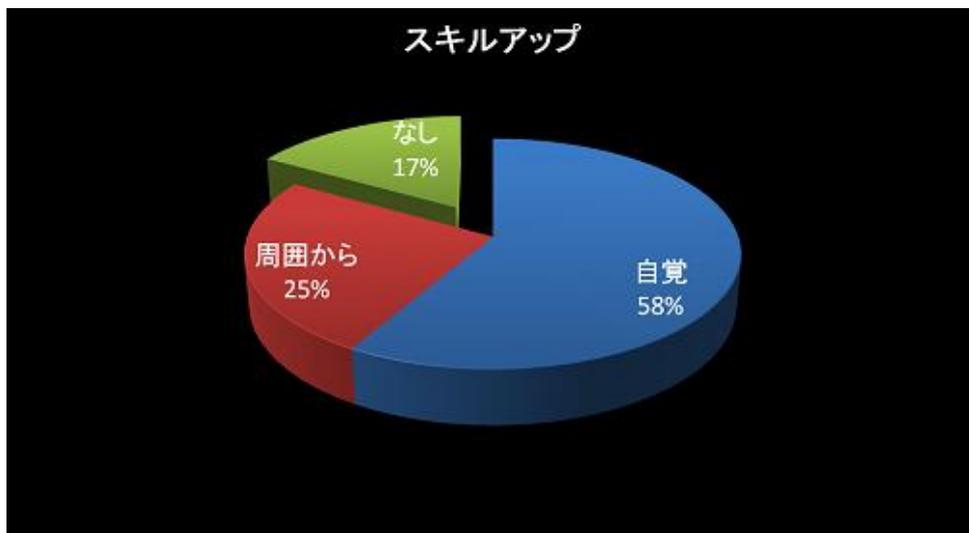
「冷静に伝わる」声(低め・収斂)

→ 試合結果の報告などの速報
緊急のお知らせ

高めの鋭いタイプ「集中できる声」は、占いやクイズが、

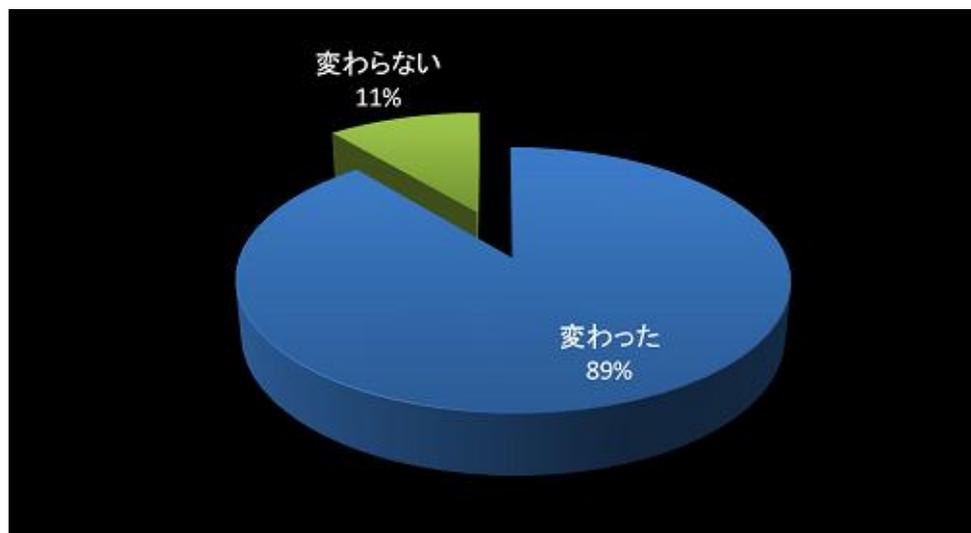
また、低くて鋭いタイプ「冷静に伝わる声」は、
緊急のお知らせが似合います。

もしかしたら・・・私、スキルアップ？



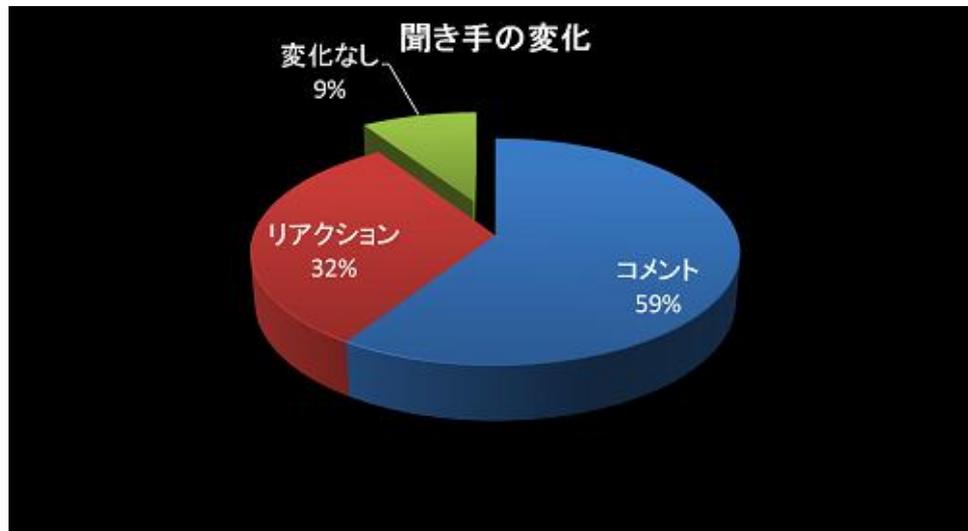
これらの試みを通して、
自分の読みが変わったと感じている部員は、
83パーセントでした。

部員同士の評価は？



また、他の部員の読みが変わったと感じている割合は、89パーセントでした。

やっぱり・・・スキルアップ？



でも、一番嬉しいのは、やはりお昼の放送に対する周囲からの評価です。

「感想を言われるようになった」
「前よりも昼の放送に集中してくれている」
と、聞いている人の変化を実感している部員が、
91パーセントにのびりました。

スキルアップポイント(技術)

息の使い方がう
まくなった。

名詞を立てるよ
うになった。

初見でも
ある程度読める
ようになった。

今回の試みによるスキルアップポイントをまとめてみました。

技術的にはこちらの3点。

息の使い方、名詞の立て方、
初見読み の技術がアップしました。

スキルアップポイント(意識)

普段からアクセントを意識

聞き手の立場を意識

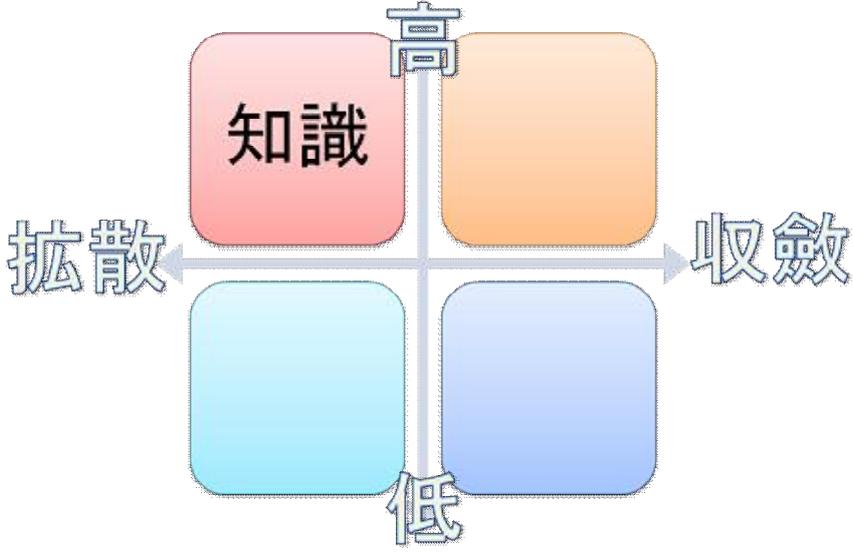
自分の「声質」を意識

意識の面はこちら。

アクセントへの注意力、
聞き手の立場、
自分の声質への意識が高まりました。

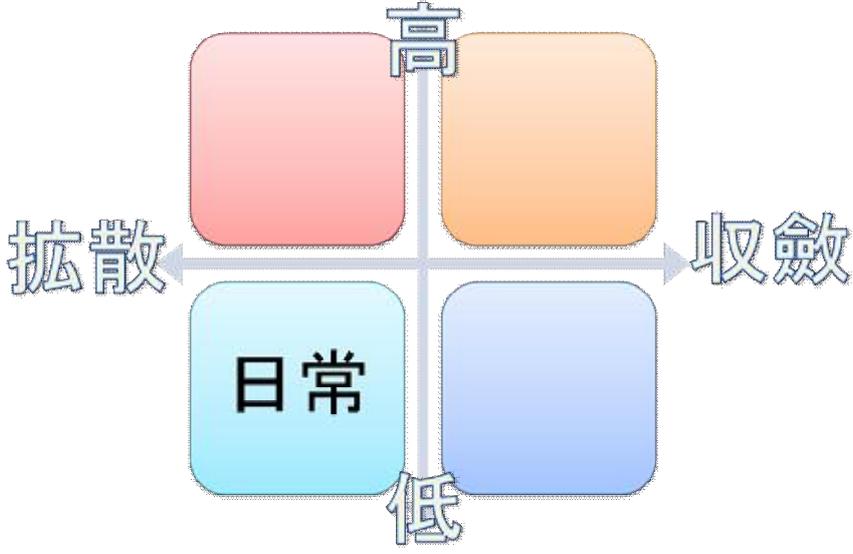
ここでもう一度、「音色マトリックス」を使って、
「声質」が校内放送に与える効果を考えてみましょう。

「校内」という空間に適した
アナウンスとは？



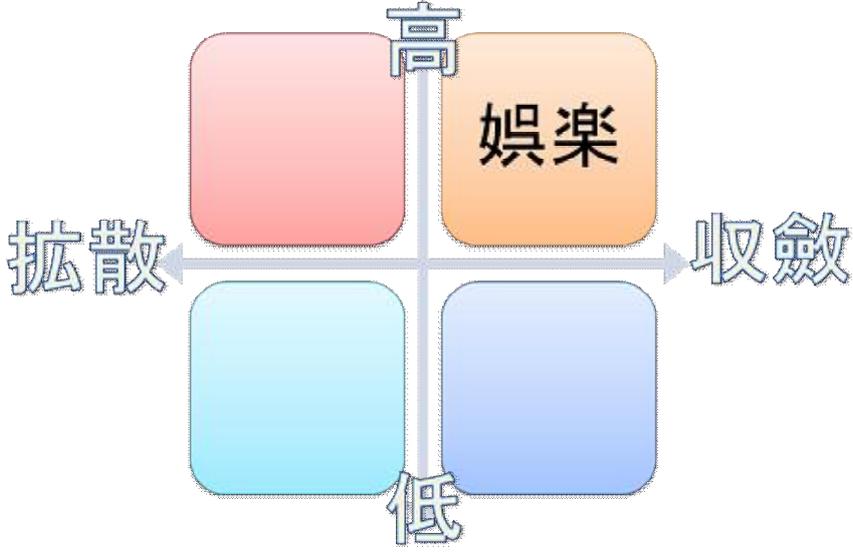
高くて広がるタイプは、「知識」を、

「校内」という空間に適した
アナウンスとは？



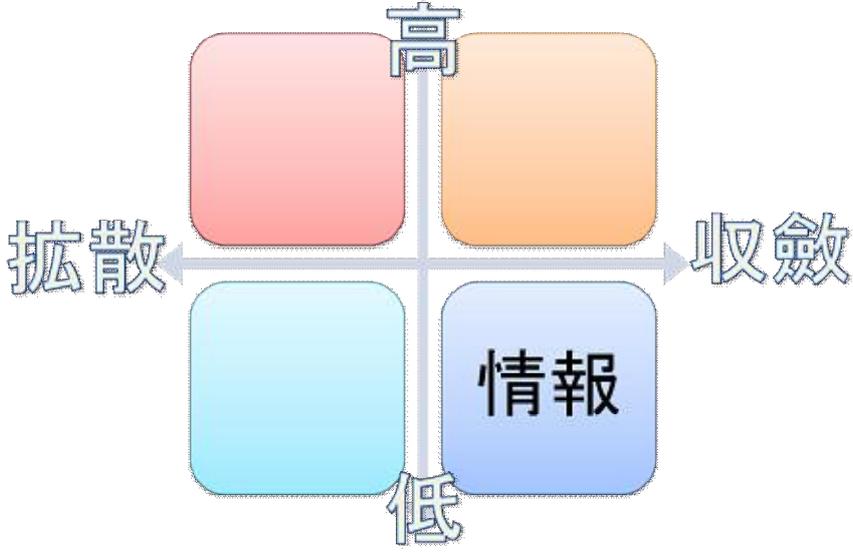
低くて広がるタイプは「日常」を、

「校内」という空間に適した
アナウンスとは？



高くて鋭いタイプは「娯楽」を、

「校内」という空間に適した
アナウンスとは？



低くて鋭いタイプは「情報」を、

「校内」という空間に適した アナウンスとは？



それぞれの声質を生かして、
校内放送の分担を行うようになりました。

それでは、最後に
変身した昼の校内放送をお聞き下さい。

「ありがとうございました。」

鹿児島純心女子高等学校放送部

これからも、「聞いてもらえる校内放送」を目指して、
努力していきたいと思えます。

ありがとうございました。